

第 57 回 トワイライトセミナー（ハイブリッド開催）

「技術士第二次試験－機械部門の受験対策講座」

開催日： 2024 年 4 月 2 日（火） 18:00～19:30

会場： 長岡技術科学大学 東京サテライトキャンパス+オンライン（Zoom）

参加者数： 22 名

はじめに

第 57 回トワイライトセミナーは、4 月 1 日から今年度の受験受付の始まった技術士第二次試験（機械部門）の受験を目指す方へのガイダンスとして開催した。今年のセミナーも会場において直接講師への質問を行う機会を作ることと、遠方からでも本セミナーに参加できる環境を維持することを考慮し、対面+リモート方式のハイブリッド方式で開催した。

内容

昨今の機械システムは複雑化、専門化が進み、機械設計者には多様化する機械のトラブルや生産設備に生じる様々な問題・トラブルを解決する能力を高めることが求められている。この能力を客観的に評価できるものの一つとして国家資格である「技術士」がある。技術士資格取得を目指す機械系技術者へのサポートを目的とし、今年度も技術士事務所（元千代田化工建設 主席技師長）の大原良友氏をお招きし「技術士第二次試験－機械部門の受験対策講座」を開催した。

今年度の技術士第二次試験は例年通りの本年 7 月 16 日（総合技術監理部門）、17 日（総合技術監理部門を除く全部門）に予定されており、受験申込期日も例年通り 4 月である。今回のセミナーでは 22 名の参加応募があり、2 名の会場参加と 20 名のリモート参加をいただくことができた。講演後は会場とリモート双方から多くの質問が出され、講師の先生にはこれらの質問に丁寧に回答をいただいた。

本セミナーでは、出願時点から試験が始まっているともいえる出願書へ記載する時の書き方・留意点、出願後から試験当日までに確認すべきこと・勉強すべきこと、試験当日に心得ておくべきことなど受験者にとってまさに一番知りたいことを習得できる有益な内容のセミナーである。

講義では、技術士制度、技術士法目的の紹介、試験制度の概要について説明された後、技術士二次試験の機械部門における試験の概要、筆記試験と口頭試験に対する対処方法、筆記試験における答案の書き方等について、必須科目、選択科目の具体的な答案記載例を示しながら分かりやすい解説であった。参加者は試験までの 3 か月半に何をすべきかを思い描きながら、熱心に聴講されていた。